



梅丘ビューロー

ボランティアだより

2020年

11
月号

社会福祉法人世田谷ボランティア協会は、1981年に設立された民間のボランティア活動推進機関です。区内に4つあるボランティア活動の相談を受け付ける地域の拠点の一つが「梅丘ボランティアビューロー」です。ボランティアしたい人とボランティアを必要としている人や団体をコーディネートし、活動についてのご相談に応じています。

発行：(福)世田谷ボランティア協会 梅丘ボランティアビューロー〒154-0022 世田谷区梅丘1-8-9 TEL 03(3420)2520

ビューローバザー中止・手作り品販売のお知らせ

毎年ご協力いただいております11月開催のバザーですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため従来通りの実施が中止となりました。

なお、ビューロー内ではマスクなどの手作り品は好評販売中です。リサイクル品の洋服・服飾小物・食器類の販売もあわせて行っていますので、ぜひお越しください！

提供品について

現在、当ビューローでは、バザー提供品の受付は行っていません。皆様のご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



災害ボランティア コーディネーター養成講座がオンラインでスタート！

災害ボランティアコーディネーター オンライン養成講座のPR動画が完成しました！ これまで大学や地域の施設などで開催していた養成講座をオンラインでも受講できるようになります。

10月末からYouTube「せたがや災害ボランティアセンター公式チャンネル」にアップしますので、まずはチャンネル登録をしてお待ちください。皆様の講座へのご参加をお待ちしております。

詳細は追って、ホームページおよびFacebookでお知らせします。

【チャンネル登録はこちら↓】

<https://www.youtube.com/channel/UCpwk3gsdJJtTFMoh2O4k7Q>

(あるいは、YouTubeで「せたがや災害」で検索)



梅丘ボランティアビューロー

住所：〒154-0022 世田谷区梅丘 1-8-9

(小田急線「梅ヶ丘駅」南口より徒歩8分)

TEL：03-3420-2520 FAX：03-3706-2854

E-mail：umebora@otagaisama.or.jp

ブログ：http://blog.canpan.info/bureau

開館時間：10時～17時(日曜日・祭日を除く)

ビューローへの行き方：
路上の黄色い点字ブロックに沿って歩いてね



☆☆ボランティア募集☆☆

点字学習のサポートをしてくださる方募集

砧地域にお住まいで目の不自由な50代男性が、点字で文章を書く練習を手伝ってくれる方を探しています。1時間程度、練習に使う短い文章（新聞記事や俳句など）を本人へお伝えし、点字を打った後に一緒に答え合わせをする活動です。ボランティアの方に点字の知識は必要ありません。男性のペースに合わせてゆっくりと待つことのできる方、お待ちしております。



- ・日時 土曜または日曜日
午前10～11時または、午後2～5時のうち1時間程度。
月1回～。
- ・場所 祖師ヶ谷大蔵駅から徒歩10分程度 グループホーム内
- ・条件 年齢・性別は問いません。交通費はご相談させていただきます。
- ・お問合せ 梅丘ボランティアビューロー (03-3420-2520)

梅丘失語症カフェ 参加者募集

定員を抑えて開催します。お早めにご予約を！

●11月の失語症カフェ

今回は、世田谷区における失語症自主グループの活動をご紹介します。世田谷区は全国でも珍しいほど多くのグループが多彩な活動を行なっています。グループが生まれた経緯や活動の内容、そして、このコロナ状況下において、悩みながら活動を継続するグループの試みをお話したいと思います。

梅丘失語症カフェ

「世田谷区の失語症自主グループ」

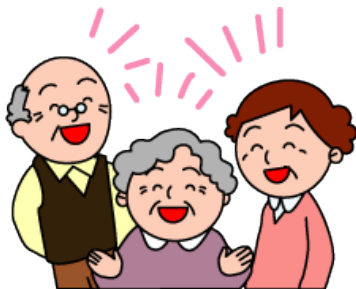
- ◇日時：11月21日(土) 13:30～15:30
- ◇場所：梅丘ボランティアビューロー
(世田谷区梅丘1-8-9 2階 ★エレベーターなし)
- ◇定員：12名(感染症対策のため要予約)
- ◇参加費：300円(資料代)
- ◇予約：電話(03)3420-2520
メール umebora@otagaisama.or.jp

◇お願い：

感染症対策として、

- ・お出かけ前の検温、
- ・飲み物のご持参、
- ・マスクの着用を

忘れずをお願いします。

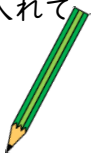


●9月の失語症カフェ(報告)

失語症のある方々とともに会話を楽しむ活動を行なっているボランティア「失語症会話パートナー」。パートナーたちは、失語症のある方とコミュニケーションをとる際に「ポイント筆記」を取り入れて、よりわかりやすい会話を実現しています。

9月19日の「失語症カフェ」では、この

「ポイント筆記」の基礎をお話しました。



当日は、福祉系専門学校の学生さん、失語症のある方のご家族、新米会話パートナーなど、5人の方々が受講されました。講座の後半では、実際にポイント筆記にトライ、「ポイントをしばる」むずかしさを体験していただきました。

●コロナ禍で苦心する失語症自主グループ

失語症自主グループの活動は、「仲間が会って親しく会話する」、これに尽きます。ところがコロナ禍にあっては、人と人が感染を防ぎながら安全に会話することがむずかしく、活動は停止を余儀なくされました。最近では、集まる人数と時間を制限し、マスクやフェイスシールドなどを着用、ホワイトボードへの板書など会話を可視化する工夫を重ねて、徐々に活動を再開しています。

梅丘ボランティアビューロー 03-3420-2520 【月～土曜 10時～17時】